

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年3月10日				
事業所名		公表日 令和7年3月10日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	療育は必要に応じて机を動かしたり、職員の数など配慮しながら一人一人が自由に行動できるスペースを確保している。	利用人数が多い時は狭く感じるので広く使えるようその都度配置を考える。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	利用児童に適した職員配置をしており、活動の際はこどもの状態や人数を加味して支援にあたっている。	利用児童が多い場合は児童の下校時間の関係で職員が必要になる場合がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	生活空間はシンプルな構造をしており、障害の特性に応じ視覚的に物事がわかるようタイムスケジュールや時計の位置などを調整し、こどもが過ごしやすいように工夫をしている。バリアフリーに関しては段差がまばないので安心して過ごさせている。	トイレの数が少なく、利用が集中してしまうと混雑してしまうため改善が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	整理整頓を心掛け、毎日の掃除や消毒を行い清潔で安全に過ごせるように工夫されている。空調等も定期的に掃除し、アレルギーを起さないよう気をつけている。活動に合わせて机を移動させたり、空間を確保するようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	静養室を設け宿題や体調不良時などはそちらで活動してもらい、こどもが安心できるような環境作りをしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	ムズな業務遂行の為、改善、見直しを行っている。職員間での共有を行い、業務改善を行うようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者アンケートを行い、保護者からの意見を取り入れ内容から業務改善に繋げている。お便り、ノートを通して、保護者から質問等があった場合は皆で話し合い、振り返りを行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員間はこどものことや教室のことなど、幅広く意見の交換ができており、内容に応じて業務改善に繋がられている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	定期的に本部からの巡回が行われており、巡回で評価結果を業務改善へつなげ、スムーズに業務ができるようにしている。外部評価についてももしっかり把握する機会があるため、改善に繋がられている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	毎月教室内での研修は必ず受講し全ての職員が真剣に取り組み、理解して実践されている。気になることなどその場で話し合い、情報共有も図っている。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	子ども達の状態をよく把握し、適切にプログラムを作成し、共有されている。お便りやホームページ等でも支援内容を公表している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	子どもの個性と状態を把握し、子どもと保護者のニーズに沿って計画を作成し、課題等も職員間で話し合いを行い子どもに合った計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	子どもの支援に関わる職員と共通理解をし、間違った支援を行わないようにしている。常に意見交換を行い、支援計画を作成する際にも職員全体で共通理解した上で子どもにとって最善となるようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	計画は職員間に共有されており、計画に沿った形で支援されている。	共有はしているがまだまだ努力していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	子ども一人一人に応じた支援をするようにしている。絵カードや視覚的なものを使ったり、アセスメントに記入してある好きなものを用いたりして良い支援ができるよう皆で情報を出し合っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	子どもの支援に必要な項目がしっかりと設定されており、具体的な支援内容もしっかりとしている。・状況に応じて、本人や家族と話し合いをするなどをして、本人や家族に支援を強化するとともに地域とも密な関係を作れるようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	利用児童に足りない運動など、職員で話し合っ決めていく。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	固定化しないように同じ運動でもアレンジをしたり、難しくしたりと工夫している。研修や資料などを見て日々新しい情報も取りいれている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	利用児童に合わせて計画案を練り、対応している。子どもの状態には常に気を配り、不安定な状態で入室する児童もいるため、集団活動が難しい時は個別に支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	職員間で毎日ミーティングを行い、情報共有や当日の役割を分担を確認し、状況に応じてその都度報告し対応している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	支援終了後は一日の振り返りを行い、児童の様子、対応の仕方、活動等支援ができていたか、情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	個人の記録（支援）を取り、変わったことや気付きを情報共有・確認し、改善に努めている。職員や保護者、関係機関とも連携している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	定期的にモニタリングを行い、支援の見直しをしている。計画の見直しやチェック等を行い、意見を出す場所を設ける等工夫している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	4つの基本活動をもとに組み合わせ、単調にならないように状況に応じて、対話、遊び、催しを切り替えており、職員で連携を取りながら工夫して支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6	0	子どもの自主性を育てるように、何か行動をする時や日々の支援には必ず子どもの意見を取り入れた形を提供している。なるべく自分の言葉で答えてもらえるよう投げかけ、自分の気持ちと言えない児童もいるため、自己決定がしやすいような質問の工夫や選択方法の提供を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	子どもの状況をよく理解した者がきっちりと参画している。また、事前に資料の準備や職員の意見等の聞き取りを行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	常に地域や医療機関、学校等と連携し、情報交換しながら支援を行っている。学校やクラブ等、課題やトラブル対応について、迅速に対応できるよう日頃より情報交換、共有している。	児童館の利用は定期的に行っているが、その他の機関とはあまり関わっていない。関わりを多く持っていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校行事等を把握する為、学校とも連絡を密にしている。常に連絡ができるよう体制を整え、お迎え時にその日の様子を聞く等、引継ぎも必ずしている。また、教室での出来事も連絡するようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	必要に応じて保育園や幼稚園等とも情報交換している。就学前に関する情報は保護者からや相談支援事業所と連絡を取り、情報共有を行っている。	就学前の情報は保護者だけでなく、通っている園との情報交換を行うようにする。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	個人計画の中で自立していくことができるよう支援する内容を決め支援している。学校の卒業で事業所等へ移行する場合は支援してきた内容等について、情報を提供している。	現在対象の児童がいないが、提供できるような情報をまとめておく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	必要に応じて職員間での情報共有等は行っている。	地域で行われている研修に参加経験はあるが、回数が少ない為、今後積極的に参加していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	地域と交流する機会は多く設けているが、児童クラブや児童館を利用する児童とのコミュニケーションをとる場として定期的に利用している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	送迎時間等の関係で参加が難しい場合以外はなるべく参加するようにしている。職員間では意見を言いやすいように環境を整える等工夫が出来ている。	今後、参加可能であるなら積極的に参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	日頃より保護者には子どもの状況や状態を共有している。・送迎時やメール、電話、モニタリングで教室や外出先での様子を伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	連絡ノートで利用の様子を報告し、児童の送迎時にも情報共有を行っている。家庭での困りごと等、日頃の様子について共通理解、共有している。	現在は家族等の参加できる研修を行っていないため、今後機会を作りたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に理解していただく為の説明をきっちり行い、再度説明をする機会も用意している。またモニタリングや個別に質問があるときは対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	最善の利益を優先して子どもや家族の意向をしっかりと確認してから、サービス提供を作成しており、子どもの成長に応じて意向が変わる可能性も考慮していく。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	放課後デイサービス計画を示しながら説明し同意を得ている。計画書の段階で保護者に相談確認している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	家族からの相談について必要に応じて面談し、支援を行っている。必要があれば、関係機関へと繋げたり、他職員とも情報共有を対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	保護者同士の交流ができるよう、親子レクを開催している。希望する声も多いため、少しずつ増やしていきたい。	昨年に行ったので今後も継続していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情があった場合はすぐに対応することができるよう体制を整えている。すぐに職員間で情報共有し、結果を保護者にも伝えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月お便りの配布、メールで写真を送付して児童の活動の様子や来月の行事予定等をお伝えしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報のある書類は鍵付きのロッカーに保管しており、人の目に触れないよう管理している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	障害の程度、どこまで理解しているかを把握し、視覚的、聴覚的に情報を伝えるために、文字に起こしたり、ジェスチャー等を使い伝わるように工夫し、保護者とも常に連携している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	定期的に地域の方が参加できる行事を考案し、推進している。	招待する機会があまりない為、行事を企画したりするなどして改善していく。
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルの策定はしており、職員への周知、保護者への周知などもしっかりとしている。定期的に安全計画を確認してきちんと行い、保護者には行った内容や写真を使って実際どのように行われているのかを分かりやすくプリントにまとめ配布している。
47		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPをしっかりと策定することができており、定期的に必要な訓練をしている。定期的に避難訓練をしたり、ビデオや紙芝居等で学習させたりしている。常に職員も意識しており、災害が発生したニュースを見た時は、毎回確認し合い、いつでも動けるようにしている。	
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に必ず保護者に確認し、利用開始後は保護者との連絡を密にして、子どもの状況は常に確認している。	
49		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	事前に保護者にアレルギーの有無を確認するとともにアレルギーについての情報を知った上で対応する。	現在、食物アレルギーの児童がいないため対応はしていないが、アレルギーのある児童が出た場合は、医師の指示書の通りに対応する。
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画は作成されており、研修訓練等もしっかり行っている。安全面に関しては、特に気を使い注意を払って毎月、訓練、研修、見直しを行っている。訓練を行ったあとはお便りにも記載し、文書でも渡すようにしている。支援でも生かすよう紙も貼りだしている。	
51		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	取り組み内容に関しては、プリントを配布するなどして周知し、災害にあった際の子どもの受け渡し場所を記載している等工夫して、保護者に周知されるようにしている。安全確保に関しての情報も家族と共有し、連携している。	
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットは職員間で共有し、再発防止について話し合い、検討し、実行している。	
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	年に2回研修をしたり、資料で学習している。定期的な研修や個別に皆で研修する機会を設け何度も振り返ることで、理解し身に付けている。	
54		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	現在、身体拘束が必要な利用児童はいないが、身体拘束を行う必要があった場合は保護者への説明し同意をいただいでから、職員間での支援共有をおこなう。	